

SR-2シリーズの
振とう台の容器
対応について



標準的な分液ロート容器の対応について



スキューブ型
50ml～1Lまで



丸型
50ml～2Lまで

柴田科学株式会社(SIBATA)及びAGCテクノグラス株式会社(IWAKI)の標準タイプの製品を基準としております。

標準のHE-3振とう台

3本の取付は～1Lまで(丸型及びスキューブ型)
2本までなら丸型2Lの容器まで取付が可能。
(丸型2L×3本では本体が移動する可能性があるため不可とさせて頂いております)

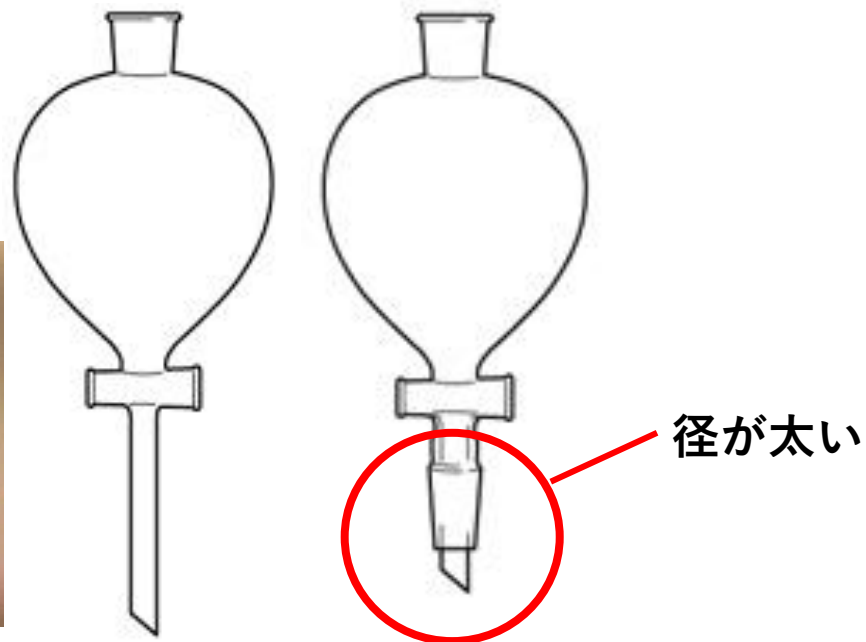
標準のHE-5振とう台

5本の取付は～200ml(同一サイズの場合)
3本以下ではHE-3と同様となります。

SR-2の両面タイプはHE-3もしくはHE-5を選択して振とう台を揃える必要がございますので、ご注意ください。

SR-2シリーズのHE振とう台は分液ロートを主に懸濁させる振とう台です。

その他の分液ロート容器の対応について



柴田科学株式会社(SIBATA)及びAGCテクノグラス株式会社(IWAKI)の標準タイプの製品を基準としております。

中管タイプの分液ロートについて

取り付けるホルダーの幅を変更することで2重管タイプの取付を可能としております。

製品名は**HE-3W**及び**HE-5W**となります。

Wタイプは最小取付容器のサイズが100ml~となります。

丸型3Lやスキューブ型2Lの型式と対応について

FU-1R ホルダー1本付き (丸型3L×1本)

振とう台のスキューブ型2L容器の取付本数は

FU-2S ホルダー2本付き (スキューブ2L×2本まで)

FU-3S ホルダー3本付き (スキューブ2L×2本まで)

の2種類となります。

分液ロートには色々な種類とサイズがあり標準仕様で賄えない場合の対応です。

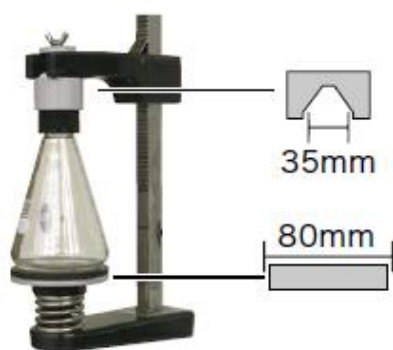
分液ロート以外の容器の取付について



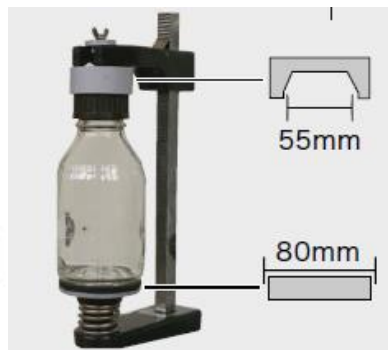
HE-3



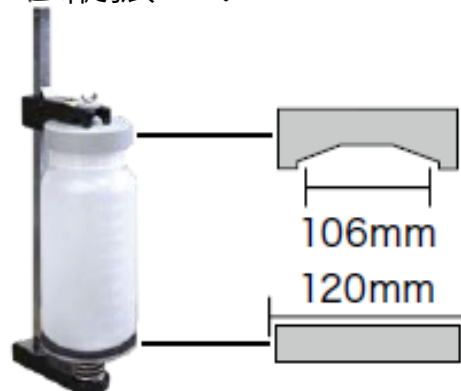
メスフラスコを縦振とう



アダプターA



アダプターB



ポリ瓶アダプター

HE振とう台用オプション

※HEのWタイプは対応しておりません

フラスコアダプターA

- ・ネジ口GL-32までの底面が平面の容器
- ・メスフラスコ (ガラス円形タイプ)

フラスコアダプターB

- ・ネジ口GL-45までの容器 (DURAN瓶等)

ポリ瓶アダプター

- ・2Lもしくは3Lのポリ瓶 (取付はHE-3を推奨)

分液ロートの振とうにワンポイントで他の容器の振とうも行う。

遠沈管の振とうについて



SR-2用C振とう台



C-half振とう台



SR-2用A振とう台

SR-2の片面及び両面タイプに対応

SR-2用C振とう台 (縦・横振とうが可能)

- ・ $\phi 10\sim 37\text{mm}$ 長さ 45~145mm \times 20本
- ・ $\phi 10\sim 37\text{mm}$ 長さ 138~244mm \times 10本

(GL-32タイプのネジロフタに対応)

SR-2用C-half振とう台 (縦・横振とうが可能)

- ・ $\phi 10\sim 37\text{mm}$ 長さ 100~120mm \times 10本

(HE-3振とう台に取り付けて使用)

SR-2用A振とう台 (横振とうのみ可能)

- ・ ラックに入れた遠沈管・試験管を振とう

(ラックは横置きを基本。縦置きは固定の対策が必要)

振とう台を固定して専用機とするか、
ワンポイントで使用するかを選択。

その他の容器の振とう台について



SR-2用B振とう台



SR-2用E振とう台



SR-2用A振とう台



M振とう台は
マジョニア管専用

SR-2片面振とうタイプに対応

SR-2用B振とう台 (容器は縦置き横振とう)

- ・ 三角フラスコ200~300ml×12本まで
- ・ 三角フラスコ500ml×6本まで

SR-2用E振とう台 (容器は縦置き横振とう)

- ・ スプリングネットで形状を選ばず固定

SR-2用A振とう台 (横振とう)

- ・ ポリ瓶や容器を振とう

(ポリ瓶は横置きを基本。縦置きは押さえが必要)

SR-2用M振とう台 (横振とう)

- ・ 脂質抽出用のマジョニア管を6本まで振とう

(容器は三商製15/25と19/38、および長嶋製作所製に対応)

振とう台を固定して専用機とする。

学術と産業に貢献します

TAMTEC

